

テレビ会議システムの導入について

1 概要

分庁舎方式を採用する牧之原市において職員の移動に要する時間・経費の削減、また災害発生時において情報の共有化と指示等の確実な伝達を行うため、本年度予算において購入した。今後、庁舎間で行われる会議への利用、災害対策本部設置時に有効活用し経費の節減に努め、また適切に情報共有を図る。

市民の代表である区長参加の行政連絡会、市民が参加する会議等、参加者が旧町間を移動しているが、時間・経費の節減等市民の負担を減らすためのツールとしての役割も果たす。移動式の会議システムのため、今後職員に対して操作研修会等を実施し、効率の良い使用方法を考え有効活用を考える。

2 導入経緯

現状の災害対策本部間の連絡や情報の伝達方法は、庁舎間を結ぶテレビ電話を代用し行ってきたが、導入から 10 年が経過し機器の劣化等が著しくまた、庁舎間で行われる会議において職員の移動に要する時間・経費の節減効果も見込めるため今回導入した。

行政連絡会や市民の参加する会議等も、旧町間の移動に見えない時間、経費が係っているが、負担を減らすためのツールとしての役割も果たすことが見込める。

3 機器の特徴

高画質カメラにより、微細なものも映像伝達できる。

高性能マイクにより、声を張らずに会話できる（ハウリングしない）。

資料や動画等が共有でき、同じ資料を見ながら会話できる。

4 今後の活用予定

- 市長訓示・別庁舎（拠点間）会議・各種打合せ・市役所勉強会・市役所講習会
- 市役所説明会・行政連絡会・事務説明会等

5 導入費用及び削減効果（試算）

導入費 1,976,400 円

削減効果（試算）

①: 一般職員が、年間で庁舎間を移動する場合の試算

$$1,290 \text{ 円} \times 150 \text{ 人} \times 5 \text{ 回} = \boxed{967,500} \text{ 円}$$

②: ①の移動で消費したガソリンの試算

$$150 \text{ 台} \times 280 \text{ 円} = \boxed{42,000} \text{ 円}$$

(750 台 ÷ 5 人 = 150 台)

③: 部長会議で庁舎間を移動した場合の試算

$$1,290 \text{ 円} \times 10 \text{ 人} \times 50 \text{ 回} = \boxed{645,000} \text{ 円}$$

④: ③の移動で消費したガソリンの試算

$$500 \text{ 台} \times 280 \text{ 円} = \boxed{140,000} \text{ 円}$$

・職員の時間当たり平均給与が**2,580円**で、庁舎の往復移動時間を**30分**とする。

・庁舎間の移動距離を**15km**とする。

・車の平均燃費を**15km/ℓ**し、ガソリンの単価を**140円**とする。

①～④を足すと…

1,794,500 円
年間削減額

6 その他

今後、削減が見込まれるもの

市民参加の説明会等（行政連絡会・説明会）

20回程度